

アンビシャス・青年リーダーがコミュニケーションマジックを実践！



初めて実践するマジックに熱中！



10月10日(土)、福岡県社会教育総合センターで「アンビシャス・青年リーダー全体研修会」が開催され、県内から多くの青年リーダーが参加しました。

講師に「土居自然学校」代表の土居 元先生をお招きして、「子どもの興味を引く！コミュニケーションマジック」をテーマに、様々なマジックの実践と講義が行われました。

土居先生が披露する様々なマジックは、驚きや笑いを誘いながら、参加者の興味を一気に高めます。リングとチェーンを使った「落ちないリングマジック」では、指の動かし方が成功のコツであることを学び、参加者たちは夢中になって何度も練習を繰り返していました。

講義では、マジックは「安全で楽しく学びのあるものだ」ということを教えていただくとともに、実践するに当たっては、「スピーチ力、段取り力、洞察力、リスク管理」という「4つの力」を磨いていくことの大切さを教えていただきました。

参加者たちは、「マジックの技術だけでなく、コミュニケーションで子どもたちの興味を引くことが大切だと実感した」、「先生から教えてもらった「4つの力」をこれから磨いていきたい」など、多くの学びを得たことへの感謝や今後の抱負を語ってくれました。

今回の研修で感じたことや学んだことを活かし、青年リーダーが県内各地で子どもたちを楽しませてくれることを期待しています！

青少年アンビシャス運動支援の会 助成団体 川筋太鼓保存会(飯塚市)

太鼓で育んだ「思いやりの心」が「人と人とのつながり」をつくる

川筋太鼓保存会は、太鼓の演奏を通して、子どもたちに「人と人をつなぐ思いやりの心」を育む活動をしています。

演奏が上手にできない子どもに、周りの子どもたちが親身になって教えるなど、子どもたちは互いを思いやり、助け合いながら太鼓のリズムを合わせていきます。子どもたちはリズムを合わせることの心地よさを体感しながら、仲間との連帯感や協調性を育んでいきます。

現在、子どもたちは近々開催される演奏会に向けて、懸命に太鼓の練習に励んでいます。練習が始まると、それまで和やかだった子どもたちの顔がキリッと引き締まり、パチを握り「構え」の姿勢をとります。指導員の先生が、一人の子どもの「構え」が以前と比べてとても良くなっていることを褒めると、その子どもはとても嬉しそうにしています。「先輩たちも負けるなよ！」と先生から声がかかると、先輩の子どもの顔つきが「負けるもんか！」と一層引き締まり、集中力を高めていました。

今後は、オンラインによる太鼓の指導や、若者の力を借りてSNSや動画による情報発信にも力を入れて、太鼓の魅力や日本の文化を世界に発信していきたいと考えています。

- 代表者：小田 幸久
- 所在地：飯塚市椿114-1
- 連絡先：0948-24-7647



太鼓の練習に励む子どもたち

青少年アンビシャス運動支援の会 令和2年度(後期)助成団体が決定しました

「青少年アンビシャス運動支援の会」は、民間企業が発起人となって設立されました。青少年アンビシャス運動参加団体を対象に、青少年育成につながる、優れて先進的な活動に対して助成を行っています。

令和2年度(後期)助成団体一覧

期間	団体名	活動名
長期	特定非営利活動法人 福岡海浜スポーツ振興協会	川辺のがっこう
	NPO法人川塾北九州	紫川だれでもカヌー
短期	総合型地域スポーツクラブ スポーツBRANDEX福岡	地域で育てる！女子サッカー育成プログラム
	日本ボーイスカウト福岡第22団	ボランティア活動を通じた先端科学の学びの場づくり
	川筋太鼓保存会	プロ奏者に学ぼう！子ども和太鼓教室
	特定非営利活動法人 よか隊	子どもたちが作る「いつもありがとう」感謝ご飯



<「青少年アンビシャス運動支援の会」入会・寄付のお願い>

運動の輪をさらに広げ、福岡県の未来を担うたくましい青少年が一人でも多く育つように、「支援の会」への入会・寄付を募っています。ご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

青少年アンビシャス運動支援の会事務局
TEL:090-5087-6623
<http://www.ambitious-fukuoka.com/>

【支援企業】株式会社ふくや、株式会社サニクリーン九州、学校法人麻生塾、株式会社新出光、福岡地所株式会社、株式会社NTTDコム九州支社、株式会社サニックス、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、株式会社ゼンリン、株式会社筑水キャニコム、シャボン玉石けん株式会社、福岡総合印刷株式会社、日本ユニシス株式会社九州支社、株式会社福岡中央銀行(令和2年度新規入会)(順不同)

★アンビシャス通信vol.89/令和2年11月発行

★編集・発行/福岡県青少年育成課 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL 092-643-3615 FAX 092-643-3389
E-mail ambitious@pref.fukuoka.lg.jp ホームページ <https://www.ambitious.pref.fukuoka.jp/>

アンビシャス



福岡県



AMBITION

ambitious report

通信

Vol.89 | 2020 Autumn



トレ芯ロケットの作り方を教えます



子どもたちと一緒に調理



子どもたちとキャンプファイヤー

面白い研修会を企画!

ここにデイキャンプにて

アンビシャス・青年リーダー、県内で活躍中!!

青年リーダーにインタビュー

アンビシャス・青年リーダーは、子どもたちと一緒に遊んだり、体験活動をサポートしたりする青年ボランティアです。今回は、県内で活躍する青年リーダー2名にインタビューを行い、青年リーダーの活動の魅力や活動を通して身につけた力、自身が描く将来の夢などについて語っていただきました。

子どもたちの夢や将来の選択肢を広げていきたい

大学入学後、ボランティアがしたいと思い、先輩からの紹介で青年リーダーの活動をスタートしました。青年リーダーの魅力は、子どもたちの遊びやイベント等に企画段階から参加でき、実際に子どもたちの反応を見て改善点を考え、次に活かす活動ができることだと感じています。

活動の中で印象に残っているのは、子どもたちに「トレ芯ロケット」(トイレットペーパーの芯を使って作るロケット)の作り方を教えたときのこと。基本的な作り方や、ロケットを飛ばすのに当たる遊び方を一通り教えると、子どもたちは「輪ゴムの数を増やしてみよう」、「的当ての範囲を広げてみよう」など、創意工夫しながら遊びを楽しんでいました。その姿を見て「子どもたちには自由な発想で遊びを楽しむ力がある」ことを実感しました。

将来は小学校の教師になり、子どもたちにたくさんの経験をさせてあげたいと思っています。そして、子どもたちがやりたいことや夢を見つけ、将来の選択肢を広げることができたらと思っています。



あかしまみのり
赤島美乃里さん
(大学3年生)

子どもたちの笑顔が、活動の原動力です

子どもの頃から地域で廃品回収等の手伝いをしており、人のために何かをしたいという気持ちがありました。青年リーダーの活動では、キャンプで子どもたちの見守り・指導や、アンビシャス広場での餅つき、研修会の企画等を行っています。キャンプで関わった子どもたちに感謝されたことが嬉しくて、「また子どもたちの笑顔が見たい」という気持ちが活動の原動力となっています。

先日は県内の青年リーダーたちが参加する全体研修会の企画・運営を担当しました。冒頭のアイスブレイクでは、参加者の前で事前に猛練習したマジックを披露。とても緊張しましたが、周りの仲間が「大丈夫!と励ましてくれ、無事成功を取ることができました。

以前は、人と関わるのが苦手で見知らぬ性格でしたが、青年リーダーの活動を通して子どもたちや地域の方と関わることで、抱いていた苦手意識が薄らいでいき、今では積極的に周囲の人と関わるできるようになりました。

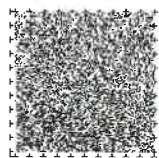
これからもいろいろな活動に参加して、子どもたちや地域の方と関わりながら自分を成長させていきたいと思っています。



のとはらしゅうへい
能登原周平さん
(社会人)



アンビシャス・青年リーダー募集中!
あなたも青年リーダーと一緒に活躍しませんか? 登録はこちらから



みんなで語り合おう！ 青少年アンビシャス運動



多様な年齢の若者や運動関係者が集まり、運動について自由に語り合う場が県内2か所で開催されました。運動を通じたこれまでの思い出を振り返るとともに、これから実現していきたい夢や地域への思いなど、参加者たちが生き生きと語り合う姿を取材しました。

赤とんぼ村自然体験スクール・お山の樂校・NPO法人マイル(糸島市)

10月8日(木)、糸島市のフリースクール「お山の樂校」(代表 田嶋杏依子氏)に、同じく糸島市内で「赤とんぼ村自然体験スクール」を運営する藤井秀重 代表や、地域で訪問看護サービスを実施するNPO法人マイルの深川美香 代表、子どもの頃に青少年アンビシャス運動に関わった若者やその家族など13名が集まり、これからの運動について語り合いました。

現在、「お山の樂校」では、子どもたちの生きる力を育むため、小学生の子どもたちを受け入れ、山の中で子どもたちの自由な発想による遊びや野外調理、鶏やヤギの飼育、稲刈りなどの体験活動を行っています。今後は、この場所を「ありのままの自分でいられる居場所として拡大していきたい」という夢を語る田嶋さん。高齢者が集い、子どもたちと関わる施設や、子どもや大人が自由な発想で企画できるイベントスペースの構築などの実現に向けて、藤井代表らとともに準備を進めています。

この日は、小学生のころから赤とんぼ村主催のキャンプに参加し、もうすぐ20歳を迎える若者も参加していました。中学生の頃に参加した9泊10日のキャンプで牛のお産に立ち会った経験を振り返り、「映像だけでは分からない、においや緊迫感が感じられ、命の尊さに感動した」と話してくれました。

青少年アンビシャス運動で得られたかけがえのない思い出、そして人と人とのつながり。これらの貴重な財産が夢の実現に向けた原動力となり、これからの運動がさらに盛り上がっていくことを期待しています。



みんなに語りかける田嶋さん



「お山の樂校」のヤギ 子どもたちが可愛がっています

夢を語り合います

東区公民館アンビシャス広場(糟屋郡志免町)

9月26日(土)東区公民館アンビシャス広場に、小学生の頃にアンビシャス広場に参加していた13歳から31歳までの8人の若者たちが集まり、ボランティアの方と一緒にこれまでの広場活動を振り返る座談会が開催されました。

広場の思い出

2泊3日の通学合宿で、班のメンバーと一緒にご飯を作ったのが楽しかったです。

夏祭りに小中学生が役割分担をして、お手伝いとして参加したこと。世代関係なく、地域の方と仲良くなれて嬉しかったです。

広場で学んだこと

行事への参加を通して、目上の人への接し方(敬語の使い方等)を学ぶことができました。

高学年になり下級生をまとめる力がついたことで、学校でもクラス代表にチャレンジしてみようと思ひ、積極的に前に出るようになりました。

地域への思い

自分たちがしてもらったことを恩返ししていきたいです。地域で子どもたちを育てていけたらと思います。

東区公民館アンビシャス広場のような温かい居場所を次の世代にもつないでいきたいです。

ボランティアの方も、若者たちの頼もしい発言に耳を傾けながら「広場を卒業したOB・OGがこうやって集まり、今でも関わってくれて嬉しい」と笑顔を見せていました。今後、若者たちが地域を盛り上げる存在となってくれることを期待しています！

平成13年にスタートした「青少年アンビシャス運動」は、来年で20周年を迎えます。20周年の節目にあたり、青少年育成課では、運動に関わるボランティアの皆さんや運動で育った若者(OB・OG)の皆さんの声を集めています。子どもたちとの素敵な思い出や運動が自身に与えた影響、地域への思いなどを語っていただける場がありましたら、取材に伺いますので、是非、当課までご連絡ください！(連絡先は裏表紙下部に記載)

皆さんの声 大募集!!

八枝アンビシャス広場(北九州市)

楽しさの中にも「学び」を!!

八枝アンビシャス広場は、八枝市民センターの子ども講座や地域の子ども会、宇宙少年団など、地域の様々な団体と協力、共催というかたちで、現在、土・日曜日を中心に体験活動を実施しています。8月からは人数制限を設け、感染症対策を講じた上で活動を行っています。

9月には、「NPO法人 好きっちゃ北九州」と連携して、子どもたちが遊びながら「防災」について学ぶことができる「あそぼうさい」を市民センターで開催しました。

「あそぼうさい」では、子どもたちが具体的な災害のイメージを持てるよう、身近な地域の山や川の名前を使った「〇×クイズ」のほか、災害の備蓄品について学ぶ「記憶クイズ」を行いました。「記憶クイズ」では、3人1組に分かれて、家庭に備えておくべき10品目を1分間で暗記し、そのあと仲間たちと一生懸命に名前を思い出して紙に書きだしていました。また、ハンドベルを使った「音階クイズ」では、耳を澄ましてベルの音を聞き分けながら、緊急速報音が人の耳に入りやすい音階と響きを使うことで危険を認識できるようになっていることを体感するなど、クイズやゲームを交えた楽しい学びを通して、身の回りの防災について自ら考える機会となったようです。

「帰ったらお家の人に教えてあげよう」と楽しそうに話していた子どもたちもたくさん見受けられました。

今後も「子どもたちのために何かできることを」という思いのもと、地域とのつながりを大事にしながら、楽しい遊びの中にも子どもたちが「学び」を得られるような活動をしていきたいと考えています。



ハンドベルによる音階クイズ



台風ボウリング

- 代表者: 安河内 裕二
- 所在地: 北九州市八幡西区八枝3-8-1 八枝市民センター内
- 連絡先: 093-603-1055

駿馬地区アンビシャス広場(大牟田市)

地域の皆さまのお力添えに感謝!広場も頑張ります!

駿馬地区アンビシャス広場は、毎週水曜日と土曜日に開設されています。広場の活動は自由遊びを中心に、カヌー体験や折り紙ヒコーキ、読み聞かせなど様々な体験活動をしています。

9月には、夏休みが短かった子どもたちに夏祭りの気分を味わってもらおうと、金魚すくいを行いました。子どもたちは意気込んでポイを受け取ると、金魚の尾のほうからゆっくりと近づけ、「えい!」とすくいあげます。「やった!金魚をゲット!」子どもたちは袋の中でゆらゆらと泳ぐ金魚を周囲に誇らしげに見せながら、ボランティアや友達との交流を楽しんでいました。

今年、駿馬地区アンビシャス広場は、新型コロナウイルス感染症の流行に加え、7月の豪雨災害で広場の拠点である公民館が使用できなくなるなど、年内の広場開設が危ぶまれる事態となりました。

何とか広場を開設したいと、地域の皆さまにご相談したところ、「ながら見守り」のボランティアを快く引き受けくださったり、駿馬小学校の体育館を広場に開放してくれたりするなど、地域のお力添えにより無事広場を開くことができました。

今後も、地域の皆さまへの感謝の気持ちをもって、子どもたちの笑顔のために頑張っていきたいと考えています。



金魚すくいをする子どもたち

- 代表者: 赤星 正弘
- 所在地: 大牟田市馬込町1丁目20-1
- 連絡先: 090-4582-2131(北川)

飛ばそう夢をのせて 第4回 折り紙ヒコーキ福岡県大会お知らせ

令和2年12月26日(土)に、第4回折り紙ヒコーキ福岡県大会が開催されます。各地区で予選を勝ち抜いた約200名の子どもたちが参加し、熱戦を繰り広げます。

- 日時: 令和2年12月26日(土)9:20受付 9:35開会~15:30(予定)
- 場所: 太宰府市総合体育館(とびうめアリーナ)

(問い合わせ先) 福岡県青少年育成課
TEL: 092-643-3615 FAX: 092-643-3389
E-mail: ambitious@pref.fukuoka.lg.jp



第3回(前回)大会の様子

★アンビシャス通信(89号)のご意見や感想をお聞かせください!(こちらのQRコードから入力できます)



青少年アンビシャス運動参加証新規交付団体一覧(第149回)

(第149回)令和2年11月1日参加証交付分 4団体

2 地域ぐるみで子どもを育てよう(3)	団体名	代表者氏名	活動内容	所在市町村
	NPO法人ギフテッド	久保山 博子	子供のアウトドア活動	福岡市南区
	ウェブコル株式会社	杉岡 玲生	大学も企業もアンビシャス運動を応援しよう	福岡市博多区
	子育てふれあい広場 じゃじゃり子みへ	林田 恵美子	子育てふれあい広場	大牟田市
4 読書しよう(1)	団体名	代表者氏名	活動内容	所在市町村
	ウォルターインターナショナル	太田 繁	青少年の読書推進計画	東京都

累計 1,938団体